

平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 AKIBA ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 馬場 正身
 (JASDAQ・コード番号 6840)
 問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英
 (TEL. 03-3541-5068)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 14 日に公表しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 31 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間連結業績予想値と実績値との差異
 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,000	百万円 △50	百万円 △50	百万円 △60	円 銭 △65.30
今回実績 (B)	4,721	△ 2	△ 1	△38	△42.04
増減額 (B－A)	721	47	48	21	
増 減 率 (%)	18.0	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	3,615	△13	△ 3	△117	△127.42

※当社は、平成 30 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株を 1 株とする株式併合を実施しております。
 これに伴い、平成 30 年 3 月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

差異の理由

売上高につきましては、メモリ製品製造販売事業において、コンシューマ向け PC 用途のメモリの出荷が引き続き好調に推移したこと、並びに、HPC 事業において、大口案件の獲得も含め、受注、納品が想定を超えるペースで進んだことから、業績予想を上回りました。

また、営業利益、経常利益段階においても、売上高の増加にともない利益額が増加したほか、通信コンサルティング事業における MVNO 事業が好調であったことから、業績予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益段階におきましては、上記のとおり利益段階が好調により、子会社の法人税等が当初想定よりも多く発生いたしました。当初の業績予想を上回る結果となりました。

なお、今後の市場の需給動向に応じてメモリの調達価格が変動する可能性があること、当社グループのビジネスは第 4 四半期にかけて売上が集中する傾向があり、当該売上やその利益率により売上・利益とも変動する可能性があること、並びに、市場価格の変動により在庫の評価を見直す可能性があること等、先行きに不透明な要素も多いことから、通期の業績予想については据え置くことといたします。

以 上